情報化アドバイザー業務 ①

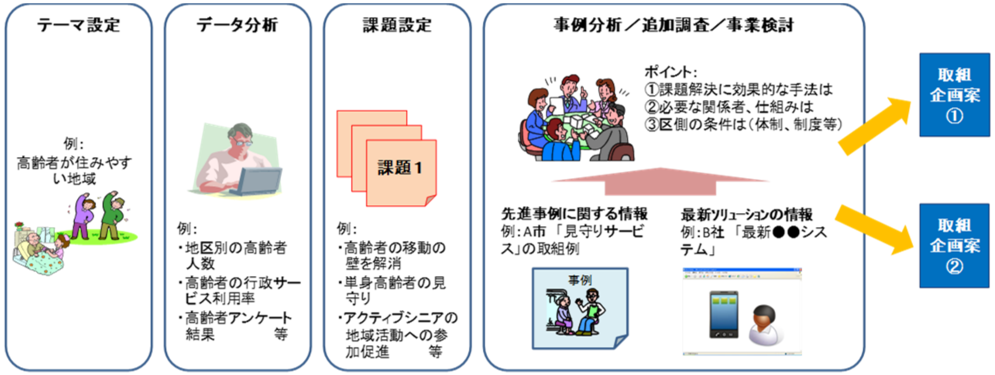
概要

業務名	総合情報化顧問（CIO補佐官）業務および最高情報セキュリティアドバイザー業務
発注者	特別区
業務内容	① **総合情報化顧問（CIO補佐官）業務** CIO、幹部職員の相談対応、情報化基本計画の策定および運用支援、情報化企画審査（予算要求に係る審査）、調達仕様書の精査、システム評価、ICT利活用の推進支援、マイナンバーの導入・活用の支援、個別システムの再構築の支援　等 ② **最高情報セキュリティアドバイザー業務** 情報セキュリティマネジメント計画作成支援、セキュリティ研修の実施、情報セキュリティ監査（運用面、システム面）、自己点検の実施、事故等の管理（CSIRT構築の支援等）、委託事業者の管理、ポリシーの見直し支援、その他セキュリティ全般に関する相談対応　等
業務期間	平成29年～令和元年の３年間（ただし、契約は単年度で実施内容は毎年見直しを実施）

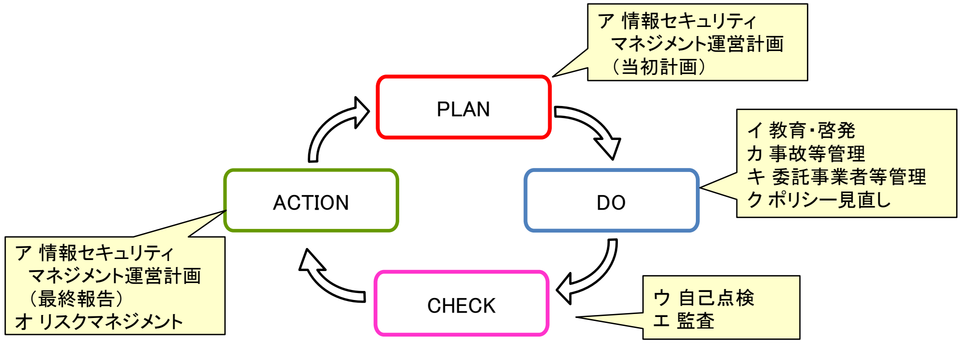
実施のポイント

- 情報化の推進（攻め）とセキュリティ対策（守り）を一括して支援することで、様々な課題に対して、あらゆる角度から課題を抽出し総合的に助言することが可能。
- 国、他自治体、ベンダ等の独自のチャネルから情報を収集して、情報化を推進するために必要な情報を提供
- 単に情報提供や技術的助言だけでなく、様々な所管課の担当者とコミュニケーションしながら、ICT利活用等のプロジェクト推進も支援。
- 情報セキュリティ対策は基本を重視し、繰り返し研修や監査を実施するとともに、個別ケースに対して現場の事情を踏まえつつ、必要な対策を支援。

ICT利活用推進のための検討フロー



情報セキュリティマネジメントのPDCAサイクル



Copyright (C) 2020 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

情報化アドバイザー業務　②

概要

業務名	情報システム調達プロセス改善業務委託
発注者	中核市
業務内容	①　**予算要求前審査の実施** 情報化に係る次年度予算に関する企画内容および経費の妥当性等について審査を実施 ②　**調達執行前審査の実施** 所管課が作成した調達関連資料について、専門的かつ第三者の視点から、記載内容について精査および助言を実施 ③　**情報セキュリティ対策の実施支援** 情報セキュリティレベルの向上を目指し、研修や情報セキュリティポリシーの作成支援、さらにはセキュリティ監査の枠組みを策定
業務期間	平成27年～令和元年度（毎年度、内容を調整し契約を締結）

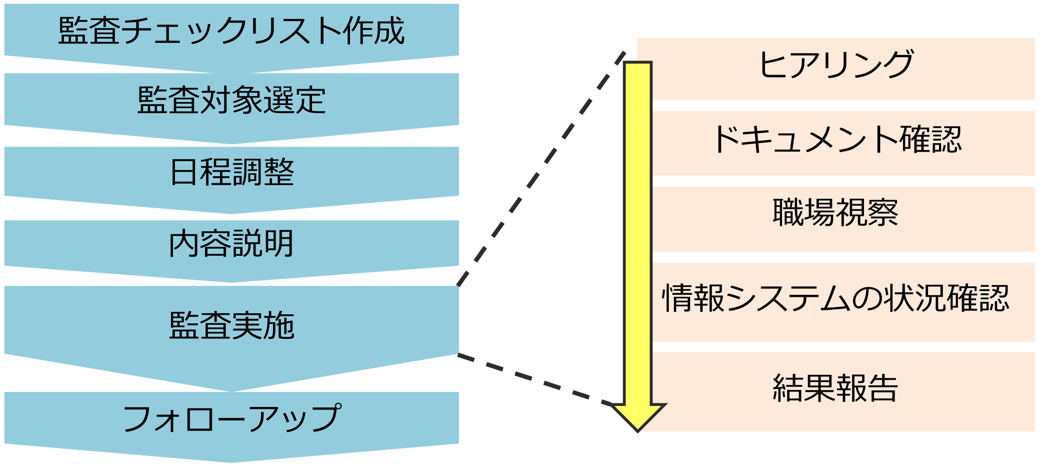
実施のポイント

- 年間50件程度の予算要求審査を実施。基本的には面談を実施することとし、メールを含めると、各案件３～５回程度の意見効果を実施。なお、面談には財政担当も同席し、財政部門と情報部門が連携して内容を精査。
- 年間５件程度の調達執行前審査を実施。所管課が作成した関連資料に対して、直接追記するなど、所管課のレベルに応じて、より具体的な助言を実施。
- 情報セキュリティ対策としては、研修、ポリシーや手順等のルール作成、監査等の段階的に、情報セキュリティ対策を強化。ポリシーや手順については、国のガイドラインをベースにしつつ、現場の実態を踏まえて策定。

予算要求前審査の観点

取り組みの必要	・課題が十分認識されているか。 ・目的が明確になっているか。 ・いま実施することが必要か。
取り組みの有効性	・想定するシステムは課題に対して有効か。 ・システムの形態、機能、規模等の要件は適切か。 ・要件が不足していないか（セキュリティ等）。
経費の妥当性	・見積書の項目が適切か、重複していないか。 ・見積もりの前提（スペック等）が過大ではないか。 ・単価や値引きが適切か。 ・必要以上に工数が積まれていないか。 ・相見積もりを取得しているか。

情報セキュリティ監査の流れ



Copyright (C) 2020 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.